

米軍再編に係る千歳基地への訓練移転に関する報告書

【 訓練期間 平成24年9月5日（水）

～平成24年9月7日（金） 】

平成24年11月

苫 小 牧 市

目 次

米軍再編に係る千歳基地への訓練移転（共同訓練）実績	1
米軍再編に係る各基地の訓練移転経過	2
米軍再編に係る千歳基地への訓練移転（共同訓練）経過	3
千歳基地における米軍再編に係る訓練移転（共同訓練）について （8月10日開催：米軍再編に係る千歳基地への訓練移転に関する連絡協議会関係）	6
米軍再編に係る岩国飛行場から千歳基地への訓練移転に関する訓練計画概要について （8月27日開催：米軍再編に係る千歳基地への訓練移転に関する連絡協議会関係）	10
地域説明会の開催結果について	14
米軍再編に係る千歳基地への訓練移転に関する 米海兵隊ブリーフィング・北海道防衛局による説明会関係	15
千歳基地への訓練移転実施内容（結果）について	23
訓練期間中の苦情・問い合わせ結果等について	24
訓練移転に伴う騒音測定結果について	25
米軍再編に係る千歳基地への訓練移転に関する連絡協議会（訓練検証）の結果	35
苫小牧市の検証結果	38

米軍再編に係る千歳基地への訓練移転（共同訓練）実績

訓練月日	参加部隊	参加規模	演練項目	訓練空域	訓練回数	米軍人の外出
1 H20. 2. 25～H20. 2. 28	海兵第12飛行大隊に所属する 派遣海軍部隊（岩国）	タイプI訓練 F A-18×4機 人員 13名	戦闘機戦闘訓練等	三沢東方空域 秋田西方空域	2 回	なし
2 H20. 12. 8～H20. 12. 12	第18航空団（嘉手納）	タイプI訓練 F-15×5機 人員 72名	戦闘機戦闘訓練等	北海道西方空域	5 回	あり
3 H21. 4. 20～H21. 4. 23	米海兵第12飛行大隊（岩国）	タイプI訓練 F A-18×5機 人員 32名	戦闘機戦闘訓練等	北海道西方空域	1 回	あり
4 H22. 11. 8～H22. 11. 19	第18航空団（嘉手納）	タイプII訓練 F-15×12機 人員 約170名	戦闘機戦闘訓練等	北海道西方空域 三沢東方空域	9 回	あり
5 H24. 9. 5～H24. 9. 7	第12海兵航空群（岩国）	タイプI訓練 F A-18×4機 人員 約20名	戦闘機戦闘訓練等	北海道西方空域 三沢東方空域	5 回	あり

◆ 米軍再編に係る各基地の訓練移転経過 ◆

年度	基地名	訓練期間	参加規模(米軍)	訓練タイプ	参加部隊	視察有無	備考
18	計画	タイプⅠ(1回につき1～5機の米軍機が1日～7日間参加) : 1回程度			H19.1.11に通知、3月を目途とし回数不明記がないが1回と思われる		
	築城	H19.3.5(月)～8(木)	F15×4機 54人	I	嘉手納	道の連絡会議(連・高小教・千歳) 1基地派遣	
19	計画	タイプⅠ(1回につき1～5機の米軍機が1日～7日間参加) : 1,2回程度 タイプⅡ(1回につき6～12機の米軍機が8日～14日間参加) : 3回程度			H19.1.31に通知		
	小松	H19.5.16(水)～23(水)	F15×5機 約80人	I	嘉手納	2名派遣	19日土曜・20日日曜の訓練は行われていない。
	築城	H19.6.18(月)～22(金)	FA18×5機 39人	I	岩国	無	
	三沢	H19.7.16(月)～21(土)	F15×5機 約80人 F16×4機	I	嘉手納 三沢	2名派遣	16日祝日・21日土曜の訓練は行われていない
	新田原	H19.9.3(月)～5(水)	F15×2機 14人	I	嘉手納	2名派遣	
	百里	H19.10.15(月)～19(金)	F16×5機 77人	I	三沢	2名派遣	
	小松	H19.11.5(月)～16(金)	F15×12機 約180人	II	嘉手納	無	F15事故調査のため中止
	百里	H20.1.15(火)～18(金)	F16×5機 85人	I	三沢	無	
	新田原	H20.2.12(火)～15(金)	FA18×2機 4人	I	岩国	無	
	千歳	H20.2.25(月)～28(木)	FA18×4機 13人	I	岩国	2名派遣	悪天候のため午前1回2日の訓練
計	千歳:1回 小松:1回 三沢:1回 築城:1回 百里:2回 新田原:2回 計:8回		I:8回 II:0回	三沢:3回 岩国:3回 嘉手納:3回	5基地派遣		
20	計画	タイプⅠ(1回につき1～5機の米軍機が1日～7日間参加) : 併せて1.0回程度 タイプⅡ(1回につき6～12機の米軍機が8日～14日間参加) : 併せて1.0回程度			H20.6.20に通知		
	三沢	H20.7.23(水)～30(水)	F15×6機 約80人	II	嘉手納	2名派遣	26日土曜・27日日曜の訓練は行われていない。
	新田原	H20.9.2(火)～4(木)	F15×2機 18人	I	嘉手納	無	
	小松	H20.12.1(月)～5(金)	F16×6機 約80人	II	三沢	無	
	千歳	H20.12.8(月)～12(金)	F15×5機 72人	I	嘉手納	2名派遣	
	新田原	H21.2.23(月)～27(金)	F15×5機 81人	I	嘉手納	無	
	計	千歳:1回 小松:1回 三沢:1回 築城:0回 百里:0回 新田原:2回 計:5回		I:3回 II:2回	三沢:1回 岩国:0回 嘉手納:4回	2基地派遣	
21	計画	タイプⅠ(1回につき1～5機の米軍機が1日～7日間参加) : 1,2回程度 タイプⅡ(1回につき6～12機の米軍機が8日～14日間参加) : 3回程度			H21.1.28に通知		
	千歳	H21.4.20(月)～23(木)	FA18×5機 32人	I	岩国	2名派遣	
	三沢	H21.7.25(土)～8.1(土)	FA18×7機 約70人	II	岩国	無	7/25・26・8/1の土日の訓練は行われていない。
	百里	H21.10.2(金)～10.9(金)	F15×5機 83人	I	嘉手納	無	機材の点検及び天候不良のため、訓練は全て中止。テスト飛行1回のみ。
	小松	H21.11.14(土)～11.20(金)	FA18×7機 F16×5機 約180人	II	岩国 三沢	無	7/14・15の土日の訓練は行われていない。
	百里	H22.1.29(金)～2.5(金)	F15×6機 87人	II	嘉手納	無	1/30・31の土日の訓練は行われていない。
	三沢	H22.2.27(土)～3.12(金)	FA18×8機 約150人 F16×4機	II	岩国	無	2/27・28・3/6・7の土日の訓練は行われていない。 千歳基地F15が空域で訓練に参加
	築城	H22.3.5(金)～3.12(金)	F16×5機 約90人	I	三沢	無	3/6・7の土日の訓練は行われていない。
計	千歳:1回 小松:1回 三沢:2回 築城:1回 百里:2回 新田原:0回 計:7回		I:3回 II:4回	三沢:2回 岩国:4回 嘉手納:2回	1基地派遣		
22	計画	タイプⅠ(1回につき1～5機の米軍機が1日～7日間参加) : 1,2回程度 タイプⅡ(1回につき6～12機の米軍機が8日～14日間参加) : 3回程度 タイプⅠ・Ⅱあわせて1.5回程度			H22.1.29に通知		
	小松	H22.6.5(土)～6.18(金)	FA18×10機 約180人	II	岩国	無	6/12・13の土日の訓練は行われていない。
	三沢	H22.10.15(金)～10.23(土)	FA18×9機 約150人 (計画:10機 約160人)	II	岩国	無	千歳基地F15が空域で訓練に参加土日の訓練は行われていない。
	千歳	H22.11.8(月)～11.19(金)	F15×12機 約170人 (計画:12機 約190人)	II	嘉手納	2名派遣	三沢基地F2が空域で訓練に参加。土日の訓練は行われていない。
	小松	H22.12.1(水)～12.11(土)	F16×12機 約200人	II	三沢	無	日米共同統合演習の一部として実施されたため土日の訓練有り。
計	千歳:1回 小松:2回 三沢:1回 築城:0回 百里:0回 新田原:0回 計:4回		I:0回 II:4回	三沢:1回 岩国:2回 嘉手納:1回	1基地派遣		
23	計画	下半期に5回程度を計画予定 そのうち、グアムへの訓練移転を2～3回程度を目標に計画予定			H23.10.4に通知		
	築城	H23.7.8(金)～7.15(金)	F16×6機 約90人	II	三沢	無	7/9・10の土日の訓練は行われていない。
	グアム	H23.10.10(月)～10.31(月) (実績:H23.10.10～10.28)	FA18×20機 約400人	グアム	岩国	無	嘉手納飛行場で実施予定であった2週間以上の訓練をグアムへ移転。
	グアム	H23.12.1(木)～12.18(日) (実績:H23.12.5～12.19)	FA18×20機 約650人	グアム	岩国	無	嘉手納飛行場で実施予定であった訓練をグアムへ移転。
	グアム	H24.2.6(月)～2.24(金)	F15×18機 約500人	グアム	嘉手納	無	
	百里	H24.2.13(月)～2.24(金)	FA18×6機 AV-8B×3機 約90人	II	岩国	無	
計	千歳:0回 小松:0回 三沢:0回 築城:1回 百里:1回 新田原:0回 グアム:3回 計:5回		I:0回 II:2回 グアム:3回	三沢:1回 岩国:3回 嘉手納:1回	派遣無し		
24	計画	1.0回程度を計画予定 そのうち、グアムへの訓練移転を5回程度を目標に計画予定			H24.3.22に通知		
	グアム	H24.5.14(月)～6.8(金)	FA18×20機 約600人	グアム	岩国	無	嘉手納飛行場で実施予定であった訓練をグアムへ移転。
	千歳	H24.9.5(水)～9.7(金)	FA18×4機 約20人	I	岩国	2名派遣	
	グアム	H24.9.27(木)～10.25(木)	FA18×20機 約600人	グアム	岩国	無	嘉手納飛行場で実施予定であった訓練をグアムへ移転。
	グアム	H24.11.29(木)～12.18(火)	FA18×20機 MV-22×4機 約880人	グアム	岩国	無	嘉手納飛行場で実施予定であった訓練をグアムへ移転。
計	千歳:1回 小松:0回 三沢:0回 築城:0回 百里:0回 新田原:0回 グアム:3回 計:4回		I:1回 II:0回 グアム:3回	三沢:0回 岩国:4回 嘉手納:0回			

米軍再編に係る千歳基地への訓練移転（共同訓練）経過

【 訓練期間：平成24年9月5日（水）～7日（金）】

- H24. 8. 8(水) ・ 米軍再編に係る千歳基地への訓練移転に関する連絡協議会開催通知
・ 連絡協議会の日程を記者クラブへ通知
- H24. 8. 10(金) ・ 米軍再編に係る千歳基地への訓練移転に関する
連絡協議会開催（北海道防衛局）、概略通知が示される
・ 第16回 苫小牧市在日米軍再編問題対策会議開催
・ 市長記者会見（連絡協議会の開催結果〔概略通知〕について）
・ 概略通知をホームページ掲載及び「市役所だより」、
「広報とまこまい（9月号）」掲載依頼
・ 概略通知を市議へ連絡
- H24. 8. 13(月) ・ 関係団体へ概略通知を示し、訓練移転への協力依頼（商工会議所、医師会等）
- H24. 8. 14(火) ・ 苫小牧市航空機騒音対策協議会開催案内送付及び記者クラブへ通知
・ 町内会連合会への説明の日程を記者クラブへ通知
・ 関係団体へ概略通知を示し、訓練移転への協力依頼（警察、料理飲食業、
飲食店組合等）
・ 地域説明会日程を「市役所だより」へ掲載依頼
- H24. 8. 17(金) ・ 地域説明会日程をホームページ掲載
- H24. 8. 20(月) ・ 町内会連合会へ説明
- H24. 8. 21(火) ・ 第17回 苫小牧市在日米軍再編問題対策会議開催
（危機管理マニュアルの一部修正について）
・ 苫小牧市在日米軍再編問題対策会議専門部会開催
（総合政策部、環境衛生部、危機管理室）
- H24. 8. 22(水) ・ 米軍再編に係る千歳基地への訓練移転に関する連絡協議会開催通知
・ 連絡協議会の日程を記者クラブへ通知
・ 北海道防衛局が環境保全課に来庁し、騒音測定地点について確認
- H24. 8. 27(月) ・ 米軍再編に係る千歳基地への訓練移転に関する
連絡協議会開催（北海道防衛局）、詳細通知が示される
・ 市長記者会見（連絡協議会の開催結果〔詳細通知〕について）
・ 詳細通知を市議へ連絡
・ 詳細通知をホームページ掲載及び「市役所だより」掲載依頼
・ 関係団体へ詳細通知を示し、訓練移転への協力依頼
（町内会連合会、商工会議所、医師会、警察、料理飲食業等）

- H24. 8. 28(火)
 - ・ 苫小牧市航空機騒音対策協議会開催（リサイクルプラザ苫小牧）
 - ・ 北海道防衛局より、戦闘機見学・米海兵隊ブリーフィング・北海道防衛局による説明会開催案内

- H24. 8. 29(水)
 - ・ 総合開発特別委員会開催

- H24. 8. 30(木)
 - ・ 植苗・美沢地区地域説明会（植苗ファミリーセンター）

- H24. 8. 31(金)
 - ・ 沼ノ端地区地域説明会（沼ノ端コミュニティセンター）

- H24. 9. 1(土)
 - ・ 勇払地区地域説明会（勇払公民館）

- H24. 9. 3(月)
 - ・ 苫小牧市在日米軍再編問題対策会議専門部会開催

- H24. 9. 4(火)
 - ・ 航空自衛隊千歳基地内に北海道防衛局訓練移転現地連絡本部設置
 - ・ 米軍の物資等（民間トラック）が千歳基地に到着（8:50到着）
 - ・ 米軍の人員約20名千歳基地に到着（13:24、民航機）

- H24. 9. 5(水)
 - ・ 戦闘機見学・米海兵隊ブリーフィング・北海道防衛局による説明会開催
 - ・ 航空自衛隊千歳基地内に市職員2名を派遣（～7日）
 - ・ 米軍の戦闘機FA-18×4機・人員4名千歳基地に到着（8:58到着）
 - ・ 本日（9月5日（水））の千歳基地における訓練移転を実施する予定との通知
 - ・ 午後、米軍機（FA-18×4機）、自衛隊機（F-15×4機）
北海道西方空域において、米軍機2機・自衛隊機2機で訓練
三沢東方空域において、米軍機2機・自衛隊機2機で訓練
 - ・ 昨日（9月4日（火））の外出あり（千歳市内）、基地内宿泊者の外泊は無し（現地連絡本部に問合せ）

- H24. 9. 6(木)
 - ・ 本日（9月6日（木））の訓練について、午前一有、午後一有の実施予定通知
 - ・ 午前、第1陣として、米軍機（FA-18×2機）、自衛隊機（F-15×2機）
第2陣として、米軍機（FA-18×2機）、自衛隊機（F-15×2機）
三沢東方空域において、米軍機4機・自衛隊機4機で訓練
 - ・ 午後、米軍機（FA-18×4機）、自衛隊機（F-15×6機）
北海道西方空域において、米軍機4機・自衛隊機6機で訓練
 - ・ 昨日（9月5日（水））の外出あり（千歳市内）、基地内宿泊者の外泊は無し（現地連絡本部に問合せ）

- H24. 9. 7(金)
 - ・ 本日（9月7日（金））の訓練について、午前一有、午後一有の実施予定通知
 - ・ 午前、米軍機（FA-18×4機）、自衛隊機（F-15×6機）
北海道西方空域において、米軍機4機・自衛隊機6機で訓練

- ・ 午後、米軍機 (FA-18×4機)、自衛隊機 (F-15×6機)
北海道西方空域において、米軍機4機・自衛隊機6機で訓練
- ・ 昨日 (9月6日(木)) の外出あり(千歳市内)、基地内宿泊者の外泊は無し
(現地連絡本部に問合せ)
- ・ 米軍の戦闘機FA-18×4機が千歳基地から帰還 (15:50離陸)
- ・ 市長記者会見 (訓練終了について)
- ・ 米軍の物資等 (民間トラック) が千歳基地を出発 (18:15)

- H24. 9. 8(土)
- ・ 本日、米軍の人員約20名が千歳基地から帰還 (9:38、民航機)
 - ・ 北海道防衛局訓練移転現地連絡本部閉所 (10:30)
 - ・ 訓練終了をホームページ掲載
 - ・ 昨日 (9月7日(金)) の外出あり(千歳市内)、基地内宿泊者の外泊は無し
(現地連絡本部に問合せ)

- H24. 9. 10(月)
- ・ 関係団体へ訓練移転終了について報告
(町内会連合会、商工会議所、医師会、警察、料理飲食業等)
 - ・ 訓練終了を「市役所だより」掲載依頼

- H24. 9. 12(水)
- ・ 第18回 苫小牧市在日米軍再編問題対策会議開催 (訓練結果(中間)報告)

- H24. 9. 13(木)
- ・ 総合開発特別委員会開催 (訓練結果(中間)報告)

- H24. 9. 14(金)
- ・ 苫小牧市在日米軍再編問題対策会議専門部会にて訓練結果を検証

- H24. 10. 4(木)
- ・ 米軍再編に係る千歳基地への訓練移転に関する連絡協議会開催連絡あり

- H24. 10. 5(金)
- ・ 連絡協議会の日程を記者クラブへ通知

- H24. 10. 15(月)
- ・ 米軍再編に係る千歳基地への訓練移転に関する
連絡協議会開催 (北海道防衛局)

- H24. 11. 22(木)
- ・ 苫小牧市航空機騒音対策協議会開催 (訓練結果報告)

平成24年8月10日

北海道防衛局

千歳基地における米軍再編に係る訓練移転(共同訓練)について

米軍再編に係る訓練移転について、現在、千歳基地において9月上旬に訓練を実施する方向で日米間で調整中です。

訓練移転の期日、参加部隊等の具体的な計画の概要については、決まり次第、お知らせします。

以上

「米軍再編に係る千歳基地への訓練移転に関する連絡協議会」 での要請事項及び回答

北海道、千歳市、苫小牧市の三者で構成する

「米軍再編に係る千歳基地への訓練移転に関する連絡会議」としての要請

訓練の期間や参加部隊等の詳細は、改めて通知されるとのことだが、訓練の実施にあたっては、地元市民をはじめとする道民の不安や懸念を踏まえ、千歳市、苫小牧市及び道で構成する「連絡会議」として次の6項目について要請する。

- ① 土曜日・日曜日及び早朝・深夜の訓練を実施しないことなど、これまでの両市との協議経過を踏まえ、協定の内容を確実に遵守すること。
- ② 訓練は自衛隊が通常使用している訓練空域や飛行経路、飛行方法によること。
- ③ 訓練の安全管理及び米軍人の本道滞在中における規律の維持に万全の対応を行うこと。
- ④ 訓練期間中は、貴局において騒音測定を実施するとともに、できる限り早期に結果を公表すること。
- ⑤ 訓練に参加する戦闘機に関し、整備・点検など安全確保に万全を期すこと。
- ⑥ 説明会の開催など、訓練に関する情報を住民、自治体、報道機関に詳細に提供すること。

北海道の個別要請

在日米軍の基地問題が特に注目されていることに鑑み、速やかに情報提供を行い、基地周辺に限らず、道民が不安を抱かないようにしていただきたい。

千歳市の個別要請

- ① 今後の具体的な訓練計画の策定にあたっては、協定内容を遵守すること。
特に市民の不安を払拭するためには、無事故が大前提となるので、訓練の安全確保、騒音、治安対策に万全の体制を執ること。
- ② 千歳市では、訓練に参加する米軍人が外出することを前提として、市内の飲食店等の関係者と情報の共有化を図り、共通の理解の下で緊急の連絡体制の確認のため連絡調整会議を開催している。前回訓練時も開催し、その際には北海道防衛局から職員を派遣し説明いただいた。今回も担当職員の派遣について、特段のご配慮を。
- ③ 現地連絡本部に設置する市民からの問合せ電話について、前回と同様に固定電話を設置すること。

苫小牧市の個別要請

- ① これまでの協議経過を踏まえまして、協定書及び協議・確認書の遵守をしていただきたい。
- ② 現地説明会及び米軍ブリーフィングなどを含め、丁寧な説明をしていただきたい。
- ③ 米軍人の外出時等の対応及び訓練に関する情報提供を速やかに伝えていただきたい。
- ④ F A 1 8 戦闘機や F 1 6 戦闘機の墜落事故直後ということもあり、安全を確保するとともに、機体の点検等を徹底し、事故防止に努めていただきたい。また、これらの事故原因及び今後の対策について速やかに情報提供いただきたい。
- ⑤ 訓練終了後の「検証」は必ず行っていただきたい。
- ⑥ 前回訓練終了後、米軍の物資等を積んだ民間チャーター機が帰還の際、土曜日の深夜に市街地上空を飛行しましたが、民間航空機では深夜・早朝枠として6便という制限があり、また、千歳基地としても深夜・早朝時間帯の飛行は自粛していることから、この様な計画は避けていただきたい。

回 答【 北海道防衛局 】

- 平成19年1月26日に千歳市及び苫小牧市と締結した協定書の内容を遵守するとともに、これまでの関係自治体との協議や確認経過を踏まえて訓練移転を実施する。
- 土日、祝日、早朝、深夜における訓練や訓練空域、飛行経路、飛行方法などについては、米軍機は航空自衛隊と同様の態様。
- 米軍人の規律の維持については、防衛省として平素から米軍に対し隊員の教育や綱紀粛正の徹底を図る等、様々なレベルから申入れを行っている。これまで同様、当局からも米軍に申入れを行う。
- 訓練期間中における騒音測定も、これまで同様実施し、結果も速やかに公表したい。
- 訓練に参加する戦闘機は平素より定期整備、飛行前飛行後点検等を適正に実施し、十分な安全を確認していると承知。訓練の実施にあたっては、航空機の更なる安全確保を米側へ求めたい。
- 関係自治体や報道機関等への情報提供については、可能な限り対応したい。
- 連絡調整協議会への出席は、今後前向きに検討したい。
- 現地説明会は、本日の要望とこれまでの実績を踏まえしかるべく検討したい。
- 米軍によるブリーフィングの実施は、米側にしかるべく伝えたい。
- 米軍人の外出時等における当局の対応については、これまでの実績を踏まえ、必要に応じサポート等を行い、トラブルの未然防止に努める。
- 訓練終了後の検証は、これまでの実績を踏まえ、適切に対応したい。
- 民間チャーター機の深夜、早朝の飛行については、米軍の運用上の理由によりやむを得ず、早朝深夜になってしまう場合もあり得るが、極力その様な状態が生じないように、米側に求めて参りたい。

平成24年8月27日
北海道防衛局

米軍再編に係る岩国飛行場から千歳基地への訓練移転に関する
訓練計画概要について

米軍再編に係る岩国飛行場から千歳基地への訓練移転（共同訓練）に関する訓練計画概要について、以下のとおりとなりましたので、お知らせします。

- 期 間：平成24年9月5日（水）～7日（金）
- 参加部隊：〔米軍〕
 - 第12海兵航空群（岩国）
 - 〔航空自衛隊〕
 - 第2航空団、北部航空警戒管制団
- 使用基地：千歳基地
- 演練項目：戦闘機戦闘訓練等
- 使用訓練空域：北海道西方空域、三沢東方空域
- 参加規模：タイプI訓練
 - 〔米軍〕
 - F A - 1 8 × 4 機程度、人員約20名程度
 - 〔航空自衛隊〕
 - F - 1 5 × 8 機程度

※ 本内容については、今後、変更される場合があります。

以 上

「米軍再編に係る千歳基地への訓練移転に関する連絡協議会」 での要請及び質問事項

北海道防衛局より前回の協議会開催時（H24. 8. 10）に 検討事項としたものについての回答

- 現地説明会は、前回の要望を踏まえ、9月5日（水）午前を実施することで調整中。
- 米軍ブリーフィングは、米側から実施可能との回答があり、現地説明会前に実施する。
- 戦闘機の見学会は、今回は訓練が短期間であることなどから実施できない。
- 千歳市連絡調整会議には、要望を踏まえ防衛局職員を出席させる。
- 現地連絡本部には、問合せのための固定電話を前回同様に設置する。

北海道、千歳市、苫小牧市の三者で構成する「米軍再編に係る 千歳基地への訓練移転に関する連絡会議」としての要請及び質問事項

8月10日の通知の際にも、千歳市・苫小牧市及び道で構成する「連絡会議」として、協定の遵守など6項目について要請をしてきたところであり、貴局からも「これまでの協議や確認経過を踏まえて実施したい」との回答をいただいております。

重ねてのお願いとなりますが、先の要請事項について、再度お願いをするとともに、住民の不安や懸念を解消するためには、訓練に関する様々な情報が可能な限り提供される必要があると考えておりますので、現地説明会の実施などについて、よろしくお願ひいたします。

- ① 米側の部隊構成を教えてください。

千歳市の個別要請及び質問事項

8月10日の協議会において要請をさせていただいたが、再度、協定の順守とともに、「訓練全般にわたる安全の確保と、万が一にも事件が発生しないよう米軍人の規律維持を図っていただきたいこと」を重ねて申し上げる。

- ① 機材を輸送する輸送機の展開・撤収の日程はどのようになるのか。
- ② 米軍関係者の宿泊場所及び、米兵の外出の可能性について。

以上の2点について、分かっている範囲で教えてください。

苫小牧市の個別要請及び質問事項

(個別要請)

- ① 8月10日開催の本連絡協議会におきまして、北海道・千歳市・苫小牧市で構成する連絡会議として、また苫小牧市といたしましても協定等の遵守のほか、機体点検の徹底など、訓練の安全管理及び米軍人の規律の維持について要請したところでありますが、市民の安心・安全のため万全の体制で訓練を行うよう、重ねてお願いいたします。
- ② 当市におきましては、訓練終了後に9月議会の所管委員会において訓練結果報告を行いたいと考えておりますので、騒音測定結果を始めとする訓練に関する情報提供を速やかに行なっていただきたい。

(質問事項)

- ① 今回の参加部隊は、岩国基地からの移転ということで、参加機種がFA 18となるとのことですが、8月10日開催の本協議会で申し上げましたとおり、本年4月にバージニア州で起きた墜落事故機と同型機と思われるので、墜落事故の原因と再発防止策について情報提供をいただきたい。
また、国はこの様な事故から国民の安全を守るために、墜落や事故などを起こした米軍機に対し、原因究明と再発防止策を米側に強く求めるべきと考えるが、防衛省としての考えをお聞かせいただきたい。
- ② 現段階で米軍参加部隊の宿泊先が基地外ということは予定されているか。また、基地外の宿泊があれば宿泊先・人数、また、宿泊者に対する北海道防衛局の対応をお知らせいただきたい。
- ③ 昨年度末に、千歳基地における誘導路整備の関係で8月上旬から10月中旬頃まで東側滑走路の使用が出来ないため、この間、西側滑走路を使用して通常訓練を行うとの連絡を北海道防衛局よりいただいておりますが、今回の訓練は西側滑走路のみを使用することになるのかお教えいただきたい。

回 答【北海道防衛局】

- 米側の部隊構成は、パイロットのほか整備要員などと承知。
- 輸送機の展開撤収については、戦闘機は9／5展開、9／7撤収、人員機材等の輸送については、現時点では訓練の前後を予定しているが、決定次第通知したい。
- 訓練にあわせて来道する在日米軍司令部の関係者数名が基地外に宿泊予定、岩国の部隊は基地内に宿泊する予定。基地外の宿泊先は保安上の理由で公表しない。
- 外出は米軍の指揮官の判断だが、過去の例から、あることが予想される。
- 米本土での墜落事故の情報提供については、可能な限り対応したい。防衛省としてはこれまでも事故等があるたびに米側に対して原因究明と再発防止の徹底等について申入れを行っている。今後とも同様。
- 今回は千歳基地西側滑走路を使用する。しかしながら、できる限り住民の方々の負担が増加することのないよう、今回の計画では訓練期間はこれまでで最も短い。

地域説明会の開催結果について

1 会場別出席者数及び質問者数

区 分	植苗・美沢地区	沼ノ端地区	勇払地区
日 時	H24. 8. 30 (木) 19:00～19:30	H24. 8. 31 (金) 19:00～20:00	H24. 9. 1 (土) 18:00～18:50
会 場	植苗ファミリーセンター	沼ノ端コミュニティセンター	勇払公民館
出席者数	12人(男11、女1)	23人(男20、女3)	15人(男13、女2)
質問者数	2人	6人	3人

○三地区合計 出席者数 50人(男44人、女6人) ※男性88%
質問者数 11人

2 三地区地域説明会における質問・意見等について

【三地区で寄せられた質問・意見等】

- ・ 訓練内容について・・・・・・・・・・・・・・・・ 5件 (31.3%)
(コース、高度、空域、回数・訓練時間など)
- ・ 事件・事故について・・・・・・・・・・・・・・・・ 3件 (18.8%)
- ・ 地域説明会について(参加人数)・・・・・・・・ 2件 (12.5%)
- ・ 墜落事故について・・・・・・・・・・・・・・・・ 2件 (12.5%)
- ・ 住民周知について・・・・・・・・・・・・・・・・ 1件 (6.3%)
- ・ 騒音測定体制について・・・・・・・・・・・・・・ 1件 (6.3%)
- ・ 訓練結果の公表について・・・・・・・・・・・・・・ 1件 (6.3%)
- ・ 沖縄負担軽減問題について・・・・・・・・・・・・ 1件 (6.3%)

合 計 16件

米軍再編に係る千歳基地への訓練移転に関する

米海兵隊ブリーフィング・北海道防衛局による説明会質疑応答

●米海兵隊ブリーフィング

○【苫小牧市 中野副市長】

- ・今回来た戦闘機は、今年4月に本土バージニア州で墜落したものと同型機か。事故原因究明や再発防止策、今回の訓練における点検整備はどうなっているのか。

【カーク少佐】

- ・事故機と同型機。詳細は調査されたと聞いている。機体の点検整備についてはしっかりと行われている。

○【苫小牧市 中野副市長】

- ・再発防止策は講じられているという理解で良いか。また、原因は公表されているのか。

【カーク少佐】

- ・再発防止策は講じられている。原因はまだ分からないので公表できない。

○【NHK記者】

- ・今回は具体的にどのような訓練を行うのか。また、訓練のスケジュール、例えば午前中に何回行うのかなど教えてほしい。

【カーク少佐】

- ・1対1、2対2などの訓練を行う。1日当たり午前と午後の2回を予定している。

○【苫小牧市航空機騒音対策協議会 丹羽会長】

- ・この訓練移転が始まる前に地元と北海道防衛局で協定を締結しているが、隊長はその協定があることについて承知しているか。

【カーク少佐】

- ・協定については聞いている。周辺住民に騒音等でご迷惑をお掛けすることについては、最大限配慮する。

●北海道防衛局による説明会

○【北海道新聞記者】

- ・今回タイプⅠ（小規模）になった経緯は。再編のロードマップではタイプⅠからタイプⅡに発展していくこととなっているはず。また、外出はあるのか。

【古川企画部長】

- ・国内の訓練移転は日米共同訓練なので、双方の事情やスケジュールを考慮した調整の結果決まる。タイプⅡを一度実施したからといって、その後タイプⅠの実施が無いというわけではない。外出は隊長の判断で実施されるが、先程隊長には外出する場合の規律維持を指導するようお願いした。外出があった場合、翌日に問合せがあれば答えたい。

○【千歳市議（香月）】

- ・訓練の目的は主に嘉手納基地周辺の負担軽減だったはず。過去の訓練移転が、どの程度の負担軽減になっているのか。

【古川企画部長】

- ・訓練移転の目的は在日米軍基地周辺地域の訓練に伴う影響の軽減。我々としては、訓練移転の実績を積み上げることで少しでも負担軽減が図られればと思っている。沖縄の負担軽減の点では、グアムへの訓練移転も追加されたところ。

○【千歳市議（佐藤）】

- ・今回、東側滑走路が使えないことは分かっていたこと。西側の滑走路は住宅街への騒音の影響が大きい。日程を考慮する段階では、こうしたことは関係ないという認識なのか。また、協定に関連して、西側旋回が心配。原則として行わないことを徹底して欲しい。さらに、事前に市民が訓練の時間を知ることはできないか。

【古川企画部長】

- ・今年の上半期は国内では訓練移転が一度も行われておらず、上半期中に実施するには千歳しかないという事情があった。ただ、できる限り周辺住民の負担が増加することのないように、訓練規模は抑えられている。また、協定については、米軍機も自衛隊機と全く同じ運用が行われる。さらに現地連絡本部から、午前と午後に訓練予定の有無を自治体に連絡し、離陸着陸の時間も事後に連絡している。

○【苫小牧市議（渡辺（満））】

- ・苫小牧市議会が開会中の時期に訓練を実施するのは配慮に欠ける。また、年間計画の公表時期が遅れている。

【古川企画部長】

- ・受験シーズンは避けるなど、一定程度の配慮はしているところ。年間計画の公表が遅くなったことは、グアムへの訓練移転が追加され調整が難しくなったことが要因と聞いている。

○【苫小牧市 中野副市長】

- ・過去の岩国からの訓練移転と今回で違う点はあるか。

【古川企画部長】

- ・内容については特段の違いはないと認識。



千歳基地への訓練移転(共同訓練)について

平成24年9月5日(水)



北海道防衛局

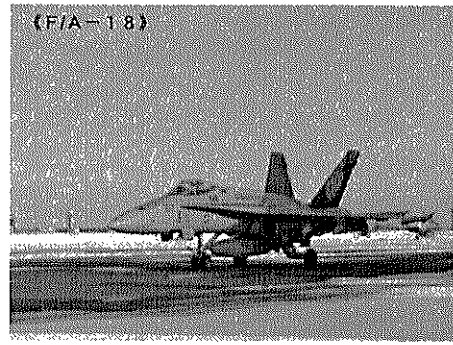
- 1 在日米軍再編に係る訓練移転
- 2 平成24年度訓練計画
- 3 今回の訓練(共同訓練)の計画概要
- 4 北海道防衛局訓練移転現地連絡本部の設置
 - (1)現地連絡本部の編成
 - (2)現地連絡本部の業務
- 5 これまでの訓練移転の実績

1 在日米軍再編に係る訓練移転

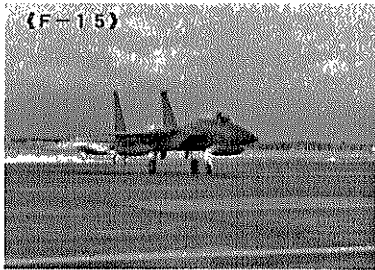
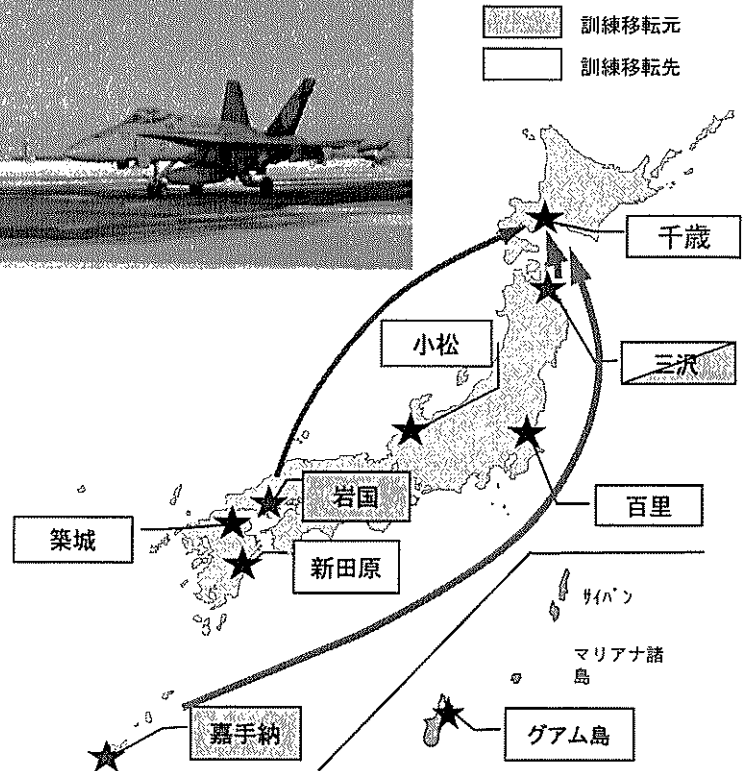
訓練移転の経緯

●再編の実施のための日米ロードマップ(平成18年5月1日)に基づき、二国間の相互運用性の向上と在日米軍飛行場の周辺地域における訓練活動の影響を軽減するため、平成18年度以降、米軍の嘉手納、三沢及び岩国飛行場から自衛隊の千歳、三沢、百里、小松、築城及び新田原基地への航空機の訓練移転を実施

●また、平成22年5月の「2+2」共同発表において、両政府は、二国間及び単独の訓練を含め、米軍の沖縄県外への移転を拡充すること、及びグアム等日本国外への訓練の移転を検討することの決意を表明し、平成23年1月及び10月の合同委員会において、嘉手納における更なる騒音軽減を図るため、訓練移転先として新たにグアム等を追加することを日米間で合意



(F/A-18)



(F-15)

2 平成24年度訓練計画

平成24年度訓練計画(平.24.3.22.公表)

- 1 米軍再編に係る訓練移転については、平成24年度に10回程度の実施を目標に計画する予定。
そのうち、グアム等への訓練移転は、5回程度の実施を目標に計画する予定。
- 2 平成24年度の訓練移転計画については、米軍の運用上の理由等により変更となることがある。
- 3 なお、個々の訓練計画の概要(訓練規模、計画期日等)については、決まり次第、関係自治体等にお知らせ。

【タイプⅠ訓練：1回につき1～5機の米軍機が1～7日間参加する訓練】

【タイプⅡ訓練：1回につき、6～12機の米軍機が8～14日間参加する訓練】

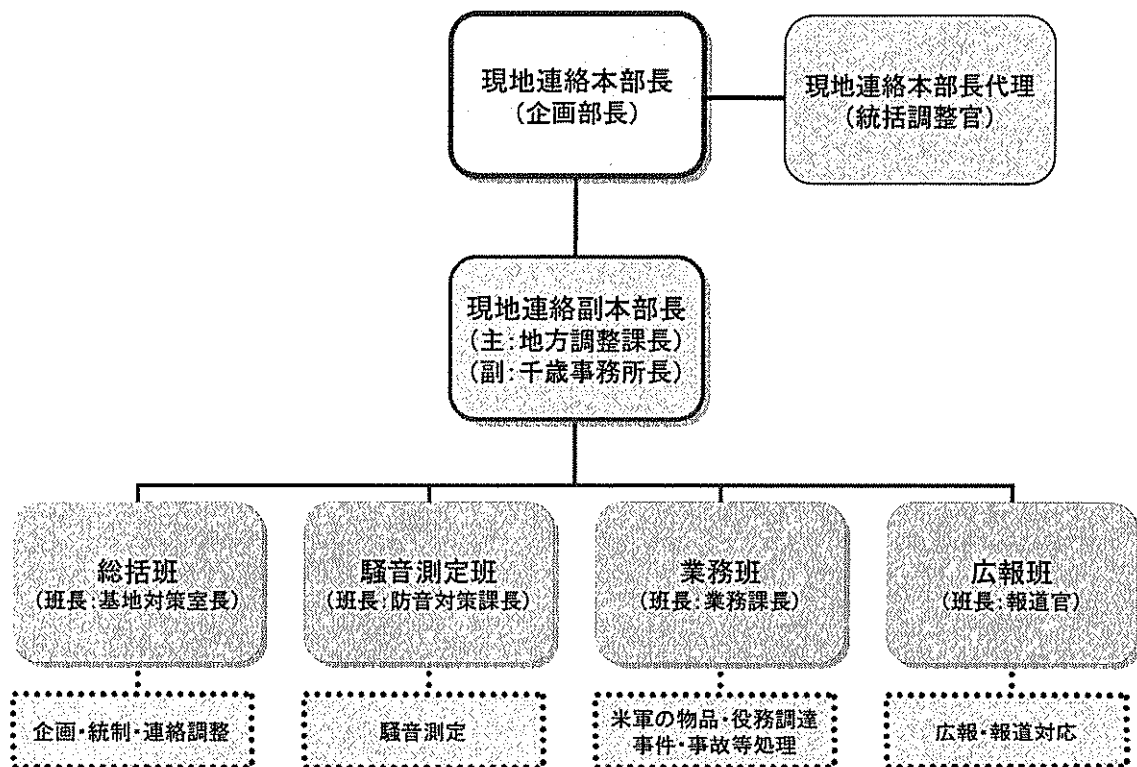
3 今回の訓練(共同訓練)の計画概要

- 8月27日(月)、当局から地元自治体等へ通知し、防衛本省において公表。

項目	米軍	航空自衛隊
期日	平成24年9月5日(水)～7日(金)	
参加部隊	第12海兵航空群 (岩国)	第2航空団(千歳)、 北部航空警戒管制団
演練項目	戦闘機戦闘訓練等	
訓練空域	北海道西方空域、三沢東方空域	
参加規模		

4 北海道防衛局訓練移転現地連絡本部の設置－(1)現地連絡本部の編成

○訓練期間中、千歳基地に現地連絡本部を設置(設置日:9月4日(火))



4 北海道防衛局訓練移転現地連絡本部の設置－(2)現地連絡本部の業務

- 現地連絡本部では、米軍への通訳支援、広報支援、食事・飲料水の調達等の各種支援及び地元自治体、関係機関及び報道機関への訓練情報の提供、各種問い合わせへの対応に当たるとともに、日米戦闘機の騒音測定を実施。
- この他に、訓練実施の有無や騒音測定結果（速報値）等の訓練に関する情報について、地元自治体、関係機関及び報道機関に対し、随時情報提供を実施。



騒音測定作業状況



現地説明会実施状況



米軍ブリーフィング実施状況

5 これまでの訓練移転の実績

- 18年度訓練移転実績 《計1回：詳細は省略》
- 19年度訓練移転実績 《計8回：詳細は省略》
2月 岩国から千歳基地（タイプⅠ）
- 20年度訓練移転実績 《計5回：詳細は省略》
12月 嘉手納から千歳基地（タイプⅠ）
- 21年度訓練移転実績 《計8回：詳細は省略》
4月 岩国から千歳基地（タイプⅠ）
- 22年度訓練移転実績 《計4回：詳細は省略》
11月 嘉手納から千歳基地（タイプⅡ）
- 23年度訓練移転実績 《計5回》
7月 三沢から築城基地（タイプⅡ）
2月 岩国から百里基地（タイプⅡ）
10月 岩国からグアム
11月 岩国からグアム
2月 嘉手納からグアム
- 24年度訓練移転実績 《現在1回》
5月 岩国からグアム

注：タイプⅠ：1回につき1～5機の米軍機が1～7日間参加
タイプⅡ：1回につき6～12機の米軍機が8～14日間参加

【参考資料】地元自治体との協定等

「米軍再編に係る千歳基地への訓練移転に関する協定」(平成19年1月26日)

札幌防衛施設局(現北海道防衛局)と千歳市及び苫小牧市との間で締結

- 【内容】● 千歳基地の位置付け ● 生活環境の整備について
- 市民の安全・安心対策について
 - 移転される米軍機の訓練形式等について
 - 地元への情報提供について

「米軍再編に係る千歳基地への訓練移転に関する連絡協議会」(平成19年1月29日)

札幌防衛施設局(現北海道防衛局)と北海道、千歳市及び苫小牧市との間で設置

【訓練計画の情報提供に関すること等について協議するために設置】

※オブザーバー参加

(厚真町、安平町、恵庭市、北広島市、栗山町、長沼町、由仁町)

※ 「千歳基地に係る米軍航空事故等連絡会議」(平成19年1月29日)

札幌防衛施設局(現北海道防衛局)と千歳基地周辺の関係機関とで設置

【事故等発生時に関係機関相互間の緊密かつ迅速な連絡調整体制の整備等について協議するため設置】

MEMO

訓練期間中の苦情・問い合わせ結果等について

【苫小牧市】

苦 情 0 件

問い合わせ等 1 件

・音が聞こえないが、訓練は行われているのか（北栄町男性）

【千歳市】

苦 情 1 件（・音がうるさい（訓練全般に対して））

意 見 1 件（・測定地点をもっと音の大きいところで行なうべきではないか）

※問合せ件数は集計していない。

【現地連絡本部】

苦 情 4 件（・訓練時間の事前公表について・音がうるさい（訓練移転時間外））

問い合わせ等 7 件（・当日の訓練実施の有無等について）

訓練移転に伴う騒音測定結果について

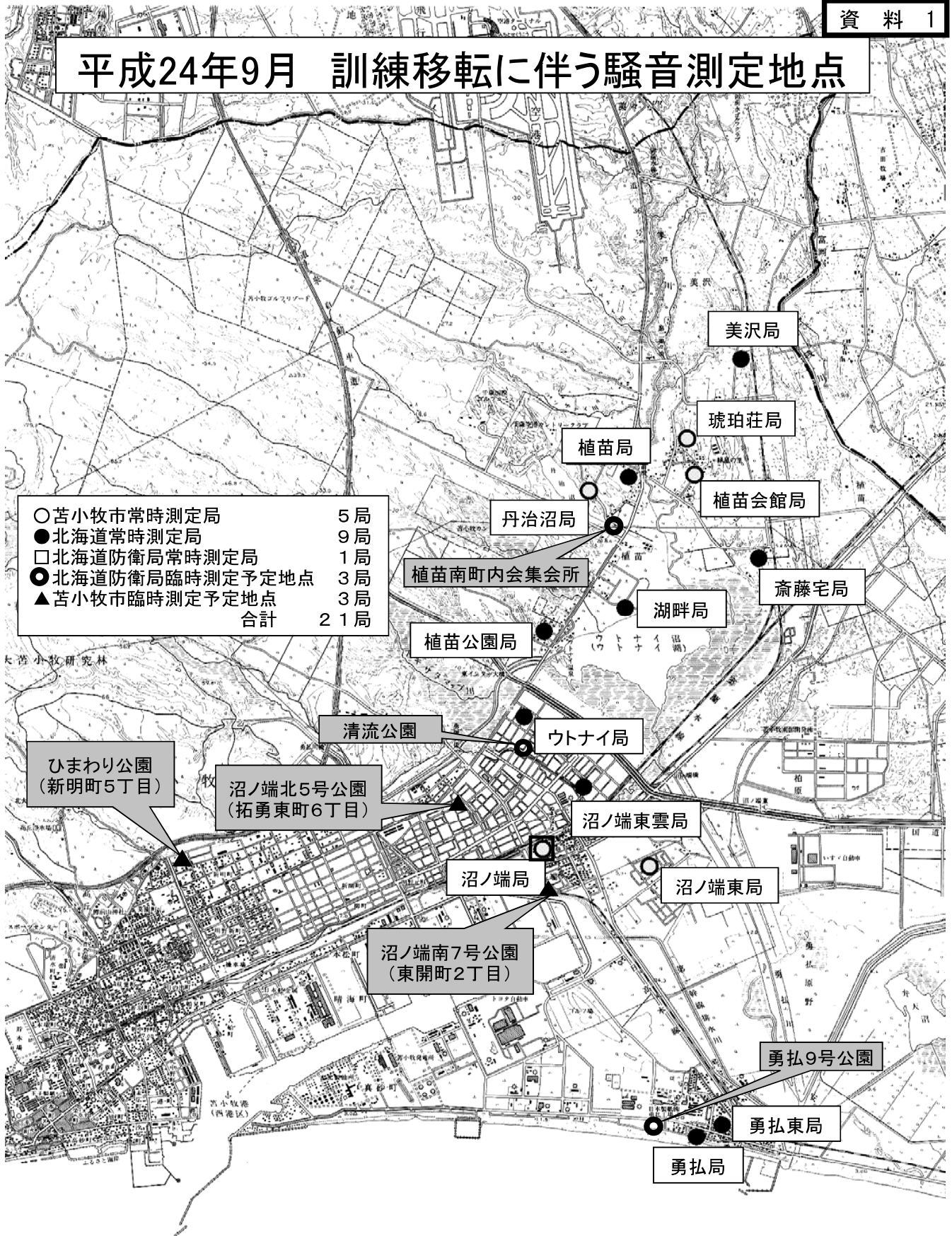
平成 24 年 9 月実施

確定版

資料

- 1 訓練移転に伴う騒音測定地点
- 2 米軍再編に係る千歳基地への訓練移転時の騒音測定結果(苫小牧市臨時測定局および苫小牧市常時測定局分)確定値
- 3 苫小牧市内航空機騒音常設局 WECPNL(W 値)
- 4 国の常時測定局及び臨時測定点の騒音測定結果・常時測定結果(W 値)
- 5 評価

平成24年9月 訓練移転に伴う騒音測定地点



苫小牧市内航空機騒音常設局 WECPNL (W値)

測定日	局舎名				北海道常設局									
	植苗 会館局	丹治沼局	琥珀荘局	沼ノ端東 局	沼ノ端局	植苗局	ウトナイ局	美沢局	湖畔局	斉藤宅局	植苗 公園局	勇払局	沼ノ端 東雲局	勇払東局
訓練移転 期		49	65	49	62	66	68	-	59	-	64	57	63	58
		-	68	-	63	57	59	47	57	-	61	49	60	-
		-	69	-	62	63	70	48	68	-	66	60	65	58

平成24年 過去3ヶ月	6月 最大日W値	61	72	62	67	70	71	63	72	59	74	58	66	64
	7月 最大日W値	59	72	61	67	73	71	61	72	58	73	67	68	61
	8月 最大日W値	55	73	59	67	74	73	65	73	59	71	63	66	65
平成21年	9月 最大日W値	62	74	57	68	73	73	65	73	56	71	64	73	60
		67	73	63	67	66	73	64	72	60	71	64	69	65
平成23年		61	74	63	69	71	71	60	73	57	71	63	69	63

※ WECPNL (W値)

一般に『うるささ指数』と呼ばれることもあり、特に夜間の騒音を重視して、騒音の強度のほかにその頻度、継続時間帯の諸要素を加味して、航空機騒音の特徴をよく取り入れた1日当たりの総騒音量の指標であり、環境基準の評価指標として採用されています。

- 備考
- ① 測定値は、70dB以上かつ5秒以上の自衛隊機・民航機の両方の騒音を含んでいます。(市・道の騒音測定の通常の取り扱いと同様)
 - ② 上記表中の「-」は航空機騒音の観測が無かったことを表しています。
 - ③ 訓練移転期間中及び平成24年度のW値は参考値です。

常時測定局及び臨時測定点の騒音測定結果

測定 月日	測定場所 機種・機数・飛行時刻			常時測定局（ピーク騒音レベル(dB)）					臨時測定点（ピーク騒音レベル(dB)）							
				苫小牧市	千歳市				千歳市					苫小牧市		
				A	B	C	D	E	No. 1	No. 2	No. 3	No. 4	No. 5	No. 6	No. 7	No. 8
			沼ノ端局	寿局	住吉局	都局	青葉局	末広中公園	武道館	千歳霊園	青葉局	北新コミセン	植苗南町内会集会所	清流公園	勇払9号公園	
9月5日 移動 及び 訓練 初日	午前	着陸	8:58 FA-18×4機 (米軍機)	—	—	—	—	93.1	92.3	98.1	89.9	93.1	59.3	—	—	—
	午後	離陸	14:50 F-15×2機 (自衛隊機)	77.2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	78.3	81.5	67.5
			15:00 F-15×2機 (自衛隊機)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
			15:04 FA-18×2機 (米軍機)	89.4	—	—	—	—	—	—	—	—	—	80.6	89.6	81.0
			15:06 FA-18×2機 (米軍機)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	65.5	—	—
		着陸	15:57 F-15×2機 (自衛隊機)	—	—	76.7	—	71.8	81.8	79.2	71.2	71.8	—	—	—	—
			16:00 F-15×2機 (自衛隊機)	—	—	—	—	—	78.0	89.5	69.5	—	—	—	—	—
			16:02 FA-18×2機 (米軍機)	—	—	86.2	—	89.3	94.8	97.2	70.9	89.3	60.8	—	—	—
			16:08 FA-18×2機 (米軍機)	—	—	78.7	—	87.6	96.0	98.5	88.2	87.6	61.0	—	—	—

常時測定局及び臨時測定点の騒音測定結果

北海道防衛局

測定 月日	測定場所 機種・機数・飛行時刻		常時測定局（ピーク騒音レベル(dB)）					臨時測定点（ピーク騒音レベル(dB)）									
			苫小牧市	千歳市				千歳市					苫小牧市				
			A	B	C	D	E	No.1	No.2	No.3	No.4	No.5	No.6	No.7	No.8		
			沼ノ端局	寿局	住吉局	都局	青葉局	末広中公園	武道館	千歳霊園	青葉局	北新コミセン	植苗南町内会集会所	清流公園	勇払9号公園		
9月6日 訓練 2日目	午前	離陸	8:49 F-15×2機 (自衛隊機)	74.3	—	—	—	—	—	—	—	—	—	69.3	75.1	63.8	
			9:04 FA-18×2機 (米軍機)	82.5	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	72.3	77.9	79.3
		着陸	9:39 F-15×2機 (自衛隊機)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	68.2	70.8	—
			9:46 FA-18×2機 (米軍機)	77.2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	72.4	72.2	68.8
			9:52 F-15×2機 (自衛隊機)	—	—	—	83.7	—	80.0	79.1	71.9	—	—	—	—	—	—
			10:03 FA-18×2機 (米軍機)	—	—	84.1	95.9	88.5	91.5	94.3	85.5	88.5	59.8	—	—	—	—
	10:42 F-15×2機 (自衛隊機)	—	—	70.3	82.9	75.5	80.5	83.1	73.4	75.5	56.5	—	—	—	—		
	10:56 FA-18×2機 (米軍機)	—	—	84.3	102.2	87.3	96.8	97.7	90.0	87.3	64.0	—	—	—	—		
	午後	離陸	15:22 F-15×2機 (自衛隊機)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	68.9	60.0	—
			15:26 F-15×4機 (自衛隊機)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	68.9	64.9	—
			15:42 FA-18×4機 (米軍機)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	70.7	70.2	64.4
		着陸	16:46 F-15×6機 (自衛隊機)	—	—	73.3	87.0	75.5	84.1	86.9	72.3	75.5	—	—	—	—	—
17:06 FA-18×4機 (米軍機)			—	—	82.1	100.4	87.5	94.0	98.1	85.7	87.5	66.8	—	—	—	—	

常時測定局及び臨時測定点の騒音測定結果

北海道防衛局

測定 月日	測定場所 機種・機数・飛行時刻		常時測定局（ピーク騒音レベル(dB)）					臨時測定点（ピーク騒音レベル(dB)）									
			苫小牧市	千歳市				千歳市					苫小牧市				
			A	B	C	D	E	No.1	No.2	No.3	No.4	No.5	No.6	No.7	No.8		
		沼ノ端局	寿局	住吉局	都局	青葉局	未広中 公園	武道館	千歳霊園	青葉局	北新 コミセン	植苗南 町内会 集会所	清流公園	勇払9号 公園			
9月7日 訓練 及び 帰還 3日目	午前	離陸	8:00 F-15×4機 (自衛隊機)	—	81.1	94.1	85.8	99.2	100.7	93.5	84.1	99.2	83.7	—	—	—	
			8:05 F-15×2機 (自衛隊機)	—	84.1	95.9	83.4	98.1	98.1	97.1	81.2	98.1	83.5	—	—	—	
			8:13 FA-18×4機 (米軍機)	—	81.8	97.7	89.6	102.3	100.7	97.5	89.8	102.3	85.5	—	—	—	
		着陸	9:07 F-15×2機 (自衛隊機)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
			9:11 F-15×2機 (自衛隊機)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
			9:14 F-15×2機 (自衛隊機)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
			9:25 FA-18×4機 (米軍機)	89.8	—	—	—	—	—	—	—	—	—	71.5	92.0	88.1	
			12:04 F-15×4機 (自衛隊機)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	76.0	67.3	—	
			12:07 F-15×2機 (自衛隊機)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	66.0	64.9	—	
	12:10 FA-18×2機 (米軍機)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	61.2	63.8	—			
	12:11 FA-18×2機 (米軍機)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	63.1	60.9	—			
	午後	着陸	12:35 F-15×1機 (自衛隊機)	—	—	70.4	—	—	81.9	81.3	66.9	—	—	—	—	—	
			13:11 F-15×2機 (自衛隊機)	—	75.3	—	75.0	70.7	79.0	80.2	72.2	70.7	—	—	—	—	
			13:16 F-15×3機 (自衛隊機)	—	74.1	76.0	—	79.9	78.6	75.6	65.0	79.9	—	—	—	—	
			13:23 FA-18×4機 (米軍機)	—	—	80.8	95.9	90.3	94.3	97.8	84.9	90.3	65.3	—	—	—	
		15:49 FA-18×4機 (米軍機)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	65.8	71.2	—		

※ No.4の青葉局について：通常、常時測定局（青葉局）は無人で測定を行っているが、日米共同訓練時には測定員を配置し機種及び機数を確認

(参考)

常 時 測 定 結 果 (W値)

○日米共同訓練に参加した自衛隊機、米軍機並びに訓練以外のすべての航空機から算定した数値

測定場所 測定日		WECPNL (W値)				
		苫小牧市	千歳市			
		A	B	C	D	E
		沼ノ端局 (75W以上 80W未満)	寿局 (80W以上 85W未満)	住吉局 (85W以上 90W未満)	都局 (75W以上 80W未満)	青葉局 (90W以上 95W未満)
訓練移転 等 期 間	9月5日 <small>(移動及び訓練日)</small>	66.8	76.0	63.7	75.8	72.1
	9月6日	58.2	75.3	65.3	81.3	68.6
	9月7日 <small>(移動及び訓練日)</small>	66.2	70.5	80.9	73.2	85.3
平成23年	9 月 <small>(月間最大値)</small>	70.8	77.9	88.7	75.0	92.5
平成24年 直近3ヶ月	6 月 <small>(月間最大値)</small>	68.6	77.3	87.5	76.8	92.1
	7 月 <small>(月間最大値)</small>	73.1	76.9	88.1	78.1	91.8
	8 月 <small>(月間最大値)</small>	75.3	79.5	86.5	78.2	89.5

WECPNL (W値) とは

航空機騒音の「うるささ」を表す単位であり、発生時間帯（昼間、夕方、夜間）など諸要素を加味した総合的評価指数。「加重等価継続感覚騒音レベル」のこと。

評価

○騒音測定結果について（資料 2）

苫小牧市、北海道の常時監視測定局 14 局における測定値については、平成 23 年度の当該局の最高値と比較して、全ての局で下回っていました。

※ 臨時測定局を含めた全局における最高値（資料 2、資料 4）

米軍機(FA-18)	沼ノ端北 5 号公園(市臨時)	94.1dB(9 月 7 日 午前訓練着陸時)
自衛隊機(F-15)	ウトナイ局(道常時)	82.3dB(9 月 5 日 午後訓練離陸時)

○WECPNL(W 値)について（資料 3、資料 4）

苫小牧市、北海道、国の常時監視測定局 15 局における日 W 値については、直近 3 ヶ月及び過年度同月の日最大値と比較して、全ての局で下回っていました。

今回の訓練移転における騒音については、測定値及び日 W 値から、第 2 航空団が行っている通常訓練と同等程度でありました。

米軍再編に係る千歳基地への訓練移転に関する 連絡協議会（訓練検証）の結果

北海道、千歳市、苫小牧市の三者で構成する「米軍再編に係る 千歳基地への訓練移転に関する連絡会議」及び北海道としての要請

事件・事故もなく無事終了したことに、安堵している。

騒音については、防衛局の測定では通常の訓練と特段の変化はないとのことで、道、千歳市、苫小牧市の測定値でも、過去5年間の最大値を超えるような値は測定されなかったと聞いている。

今後の訓練においても、住民の不安や懸念を解消するため、これまで同様に

- ① 千歳市、苫小牧市と防衛局の間で締結した協定の遵守
- ② 訓練日程の早期通知など、適切な情報提供
- ③ 事件・事故が発生しないよう、安全対策に万全を期すこと

などについて、対応をお願いする。

引き続き、米軍人の外出時における事件・事故の防止に努めていただくよう、お願いする。

千歳市の個別要請

この度の訓練については、協定の遵守を始め、訓練計画の2段階による事前公表、国設置の連絡協議会の開催のほか、市民等の対応窓口となる現地連絡本部の設置など、これまでの国との協議事項について、適切に実行されたものと受け止めている。

訓練期間中の事件・事故などの報告もなく、無事に終了したことに敬礼申し上げ、次回も同様の対応をお願いする。

当市第3回定例会が9月20日から開会され、議会や市民から「沖縄の負担軽減について明らかにするよう国に求め、市民に対して説明すべき」との質問や意見があったところ。国においては、市民に対して訓練移転の実施が沖縄の負担軽減になっていることについて「明確な形」で示していただくようお願いする。

当市の騒音値については、若干、米軍機側の騒音値が大きかったと言えるが、過去の騒音値の最大値を超えるものではなく、著しく騒音の変化があったとは言

えない結果。当市としては、引き続き騒音測定データの蓄積に努める。

国においては、今後とも、「市民の安心・安全の確保」のため、様々な対応について、特段のご配慮を改めてお願いする。

苫小牧市の個別要請及び質問事項

この度の訓練移転について、協定の遵守をはじめ、北海道防衛局のご尽力により、事件・事故もなく無事終了できたことに対し厚くお礼申し上げ、次回以降の対応についても同様とされるようお願いする。

① 訓練前の当連絡協議会でも申し上げてきたが、今後の訓練移転に対する住民の不安を払拭する意味でも、本年4月にバージニア州で起きたF A 1 8墜落事故と7月に千島列島沖で起きたF 1 6墜落事故の原因究明と再発防止策について、どのような形で安全が確保されているのか明らかにしておく必要があるものと考えため、このことについて公表をお願いしたい。

米軍ブリーフィングの場において、「再発防止策は行なっているが、原因究明の結果はまだ分からないので、この場では公表できない」と少佐が回答されていた部分について、その後何か進展があったか、今後原因究明の内容が公表されるのかについてお教えいただきたい。

② 当市において、今回の訓練は議会中の対応となったことから、今後の訓練移転においては、出来る限り議会日程に配慮していただきたい。

③ 訓練開始前の米軍のブリーフィング及び現地説明会については、住民代表の参加を含め、今後とも継続して開催していただきたい。

また、限られた時間とは理解をしているが、質問の時間などにご配慮いただくとともに丁寧な対応をしていただきたい。

④ 国設置の騒音臨時測定局については、今後の訓練時においても、同位置にて継続していただきたい。

回 答【 北海道防衛局 】

- 今後も引き続き、協定書の内容を遵守する。
- 今後も引き続き、関係自治体や報道機関への情報提供は可能な限り対応したい。
- 米軍関係者の規律の維持について、平素から米側に対し、隊員の教育や綱紀粛正を図ることを様々なレベルで申入れを行っており、今後も引き続き米側に求めていく。
- 訓練に参加する戦闘機は、平素から定期整備、飛行前飛行後に安全点検を実施していると承知しているが、今後も改めて米側に安全対策を求めていく。
- 市民の安心安全の確保については、米軍の千歳基地滞在中は現地対策本部を設置し、これまで同様最大限努力する。
- 米軍再編に係る訓練移転は（国内では）今回の千歳で29回目となる。沖縄の負担軽減については、嘉手納飛行場（沖縄）における地元負担がどの程度軽減したかは、現時点では確たることを申し上げることは難しいが、訓練移転を積み重ねることで、少しでも目に見える形で軽減を図りたい。
- 事故原因究明については、4月の事故調査結果はエンジンの故障と報告され、詳細は米海軍ホームページに7月2日に公表されている。F16の事故については原因究明中と聞いている。三沢基地でも事故後、F16の点検と隊員の安全教育を徹底して飛行を再開した。

苫小牧市の検証結果

- ・ 事務処理チェック表等を活用し、担当課にてシミュレーションを行うなど、事前の訓練対応準備を十分行うことができた。
- ・ 過去の訓練と同様に、国の連絡協議会開催のほか、住民等の対応窓口となる現地連絡本部が設置され、また、訓練計画の通知も2段階であり、地域説明会の開催など事前準備を予定どおりに行うことができた。
- ・ 訓練期間が短く、時間の無い中であつたが、これまでと同様に戦闘機見学会、米軍ブリーフィング、北海道防衛局による説明会が開催された。
- ・ ホームページへの掲載及び庁内の情報伝達については、速やかな公表・伝達を行うことができた。
また、訓練通知日の関係で可能となった「広報とまこまい」にも掲載することができ、より広く住民周知を行うことができた。
- ・ 前回訓練時に物資等輸送の民間チャーター機が帰還の際に、土曜日の夜間に市街地上空を飛行したが、今回はこの様な飛行は行われなかった。
- ・ 今回の訓練移転における騒音については、測定値及び日W値から、第2航空団が行っている通常訓練での範囲内であつた。
- ・ 訓練期間中の苦情はなかった。

【改善事項】

- ・ 航路下住民に説明会開催案内を各戸配布しているが、より効果的に周知されるよう通知方法及び回数、内容について検討を行なう。
- ・ 航空機騒音対策協議会で前回訓練時並みの資料説明を行なつたが、会長からより詳細な説明が必要である旨の指摘があり、これを踏まえ航路下3地域の説明会では、丁寧な説明で実施することが出来たので今後同様に対応する。
- ・ 空港政策課から各担当部署への情報はこれまでどおりとするが、各担当部署から関係施設への情報については、必要部分のみとする。

苫小牧市航空機騒音対策協議会の意見

- ・ 訓練結果を報告したが、今回の訓練に対する意見は特に無かつた。